

長岡京から、世界へ。

この度長岡京室内アンサンブルの演奏会を開催するのに伴い、出演者によるマスタークラスを開催できることは私にとって大変嬉しく、又意義深いことと思っています。ヨーロッパの中心で演奏活動、教育活動を実際に日々行っている演奏家のレッスンを受講・聴講して、長岡京室内アンサンブルの求めてきた「ここにしかない音」の根源を感じ取って頂けるとと思っています。講師は私の次の世代、そして受講する方の中にはその次の世代の人も。聴講に参加される長岡京市民の皆様が、その時間の流れを静かに広げて頂ける、そんな思いで計画しました。聴講希望の方には特に、今回は本番前の仕上げのレッスンではないので、勉強のプロセス、基本的な勉強の方法を見て頂く貴重な機会となります。市外の方もこの長岡京室内アンサンブルの求める「音のふるさと」を感じて頂けると思います。多くの方のご参加お待ちしております。

森 悠子 (ヴァイオリニスト / 長岡京室内アンサンブル 音楽監督)

安紀ソリエール (ヴァイオリン) **Aki Saulière, violin**

ヨーロッパのクラシック音楽界の大舞台に立ち、室内楽、オーケストラ、教育のすべてのジャンルで活躍しているヴァイオリニスト。ルノー&ゴートイエ・カピュソンと共にカピュソン・カルテットを結成。ベルリンフィルカラヤンアカデミーの第1期生としてオーケストラの現場で研鑽を積み、ルツェルン祝祭管、ヨーロッパ室内管のメンバーとしてアバド、アーノンクール、ハイティンクなどの巨匠のもとで音楽的感性を磨いた。またガーディナーやヘレヴェッヘなどの指揮のもと、ピリオド楽器での演奏活動多数。フランスのラ・ロワンテーヌで芸術監督を務め、室内楽演奏会の出演・プロデュースのほか、若手演奏家を対象とした教育プログラムを企画。欧州プロオーケストラで活躍する門下生も多い。森悠子、デイヴィッド・タケノ、フェレンツ・ラドシュ、ジェルジ・クルタークら優れた音楽家/指導者に師事。ブリュッセル王立音楽院ヴァイオリン科教授。

デイヴィッド・キグル (ヴィオラ) **David Quiggle, viola**

パシフィック・ノースウエスト生まれのアメリカ人。現在スペインに在住し、第一線のヴィオリスト、室内楽奏者、指導者として活躍している。カザルス・カルテットのメンバーとしてヨーロッパ、南米をツアー。アンサンブル、ラ・バンド・ド・ラ・ロワンテーヌのメンバーとして、フランス、ベルギー・シンガポール、日本で演奏。マーラー室内管弦楽団、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団、バルセロナ交響楽団、ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団などの客演首席奏者も務めている。2006年以降、サルダアルテ財団と協力し、特別な支援を必要とする人々、社会的排除の状況にある人々、病院や刑務所でのコンサートやワークショップを含むプロジェクトにも取り組んでいる。スペイン、フランス、ベネズエラ、コロンビア、日本、韓国、シンガポール、アメリカで青少年オーケストラを指導、スペインのムジケネ音楽院で10年間ヴィオラの教師を務めた。2017年ロンドン・フィルハーモニー管弦楽団の首席ヴィオラに就任。現在 ケルン音楽・ダンス大学室内楽教授。

ラファエル・ベル (チェロ) **Raphael Bell, cello**

オーケストラ、室内楽、プロデューサー、教育のすべてが注目されているアメリカ人チェリスト。世界一流のコンサートホールや音楽祭で活躍し、アルゲリッチ、クレーメルらと共演。ロイヤル・フィルハーモニック協会室内楽賞など受賞多数。マーラー・チェンバー・オーケストラのメンバーとして、ルツェルン音楽祭でのマーラー交響曲シリーズに参加。ジュリアード音楽院でチェロを学び、シャピロ、ブルネロ、イッサーリスら巨匠から多くの薫陶を受けた。米バージニア州のシャーロットビル室内楽音楽祭の共同設立者兼共同音楽監督。アントワープ交響楽団首席チェロ奏者。

マリー=ピエール・ラングラメ (ハープ) **Marie-Pierre Langlamet, harp**

フランス、グルノーブル生まれ。8歳でニース音楽院でエリザベート・フォンタン・ビノシュから初めてハープの指導を受け、15歳で英国のマリア・コルチンスカ・コンクールで最高賞を受賞して以来、国際的に高い評価を得ている。翌年、ジュネーブの「国際音楽コンクール」で最高賞を受賞。20歳でメトロポリタン歌劇場管弦楽団の副首席ハープ奏者に任命され、ジェームス・レヴァインの下で活躍。1993年以来、クラウディオ・アバドの下で、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席ハープ奏者を務めている。

吉田 誠 (クラリネット) **Makoto Yoshida, clarinet**

15歳からクラリネットを、22歳から小澤征爾、湯浅勇治のもとで指揮を学ぶ。20歳から森悠子に室内楽を師事。文化庁海外新進芸術家派遣員としてパリ国立高等音楽院及びジュネーブ国立高等音楽院で学んだ。ソニーミュージックからブラームス&シューマン作品集を世界リリース(朝日新聞特選盤、レコード芸術室内楽部門特選盤)。文科省学習指導要領教育芸術社小学校音楽教科書準拠DVDで演奏が紹介。これまでに数多くの国際音楽祭や国内外のオーケストラにソリストとして招かれる他、日欧でリサイタル、室内楽公演を重ねている。園城寺の「おとの三井寺」芸術監督。

主催：特定非営利活動法人音楽への道CEM

後援：長岡京芸術劇場実行委員会 / 公益財団法人京都府長岡京記念文化会館

協力：ラ・ロワンテーヌ出版社 / Japan Experience株式会社

お問合せ・お申込：特定非営利活動法人音楽への道CEM 075-212-4223

応募フォーム

